

2019 年 11 月 8 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

森ビル株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、森ビル株式会社（以下、森ビル）が発行するグリーンボンド⁽¹⁾「森ビル株式会社グリーンボンド」(10 年債 150 億円)の引受けにおいて事務主幹事および Green Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

森ビルは、「Vertical Garden City - 立体緑園都市」を理想とする「街づくりとその運営」を通じて“都市と自然との共生”“都市の低炭素化”“資源循環”を推進し、未来へつながる持続可能な社会の実現に貢献することを環境理念とし、地球環境に優しく、安心・安全で、楽しく快適な都市生活を可能とする都市づくりに取り組んでいます。

今般発行するグリーンボンドにより調達された資金は、2019 年 8 月に着工開始した「虎ノ門・麻布台プロジェクト メインタワー（虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業 A 街区）」の保留床取得資金に充当される予定です。

本件グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、世界的な ESG⁽³⁾評価会社であるサステナリティクスからセカンドパーティオピニオンを取得しています。また、環境省の平成 30 年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金の交付対象となっております。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	： 森ビル株式会社第 26 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)	
取	得	格	付	： A+ (JCR)
年			限	： 10 年 (2029 年 11 月 14 日償還)
発	行		額	： 150 億円
利			率	： 0.320% / 年
払	込	期	日	： 2019 年 11 月 14 日
主	幹	事	： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、みずほ証券、 野村証券	
Green Bond Structuring Agent		： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券		

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本件グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している (第三者機関 : サステイナリティクス)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上